

平成24年度 第3回被服学教育FD／ICT活用研究委員会 議事概要

- I. 日時 : 平成24年9月17日(月) 11時00分から17時00分まで
- II. 場所 : 私立大学情報教育協会 事務局 会議室
- III. 出席者: 高部啓子委員長、山口恵子委員、伊佐治せつ子委員、阿部栄子委員、
田中早苗委員、軽部幸恵委員、鈴木美和子アドバイザー
(事務局) 井端事務局長、森下主幹、松本職員

IV. 議題: 学士力実現に求められる教育改善モデルの検討

- ・学士力の解説
- ・教育改善モデルの編集

1. 議事概要

議事に先立ち事務局より以下のような説明があった。

検討開始から2年の時間が経過していることを踏まえ、その間の社会の変化を取り入れて、最終的な教育改善モデルを完成させて頂きたい。学問上の使命、学問を基盤とした学士力をこれからの社会、環境、人間を見据えて再考、決定したい。

続いて、「学士力の解説」について、委員の案に基づき検討が行われた。

被服学の目的、使命については、成熟社会において、精神的豊かさと生活の質の向上、感性、被服を通じた人とのコミュニケーションなどに被服学としてどのように貢献できるかという観点から検討した。さらにその目的、使命を達成するために必要な学士力の到達目標5点を具体的に記述した。

「到達目標」について、現時点でまとめられているものをもとに、「学士力の解説」と照らし合わせながら再検討し、5点をまとめた。さらにそれぞれの到達目標について、コア・カリキュラムのイメージ、到達度、測定方法をまとめた。

最後に全体を見直し、言葉の統一を図った。

「被服学教育改善モデル」について、委員の案をもとに、「授業にICTを活用したシナリオ」を写真や絵を挿入した具体的な例で示した。

2. 今後のスケジュール

今年度の委員会は本日で終了とし、学士力、教育改善モデル、教育力の最終的な確認はメールで行うことになった。

以上